

2025年度 新1年生の就学に関する アンケート回答記述集

公益財団法人 日本ダウン症協会

今年小学二年生に進級されたお子さんの保護者の会員の皆さんにアンケート回答をお願いし、回答していただいた内容をそのまま掲載させていただきました(個人情報が特定されそうな文言は修正させていただきました)。

人は価値観や考え方、受け止め方がそれぞれ異なります。あくまでも個人の感想・意見としてお読みください。

当回答記述集のデータの無断転送及び他への転載は固くお断りします

就学相談(小学校選択)を受けるにあたって

本記述集は、2025 年度に小学校 2 年生へと進級されたお子さんの保護者の皆さまを対象に、1 年前の就学に関する経験をお聞きしたアンケートの自由記述部分をまとめたものです。ご協力くださった皆さまには、心より御礼申し上げます。

今回のアンケートでは、「どのように学校を選んだか」「就学相談で何が話されたか」「子どもが学校生活をどのようにスタートさせたか」「制度と現場のズレをどのように感じたか」など、多岐にわたるテーマに対して、保護者の皆さまがご自身の経験や思いを率直に綴ってくださいました。

文面の一つひとつからは、「この子にとって何が一番よいのか」を真剣に考え、悩み、行動された日々の重みが伝わってきます。また、就学にあたっての地域差、制度の壁、学校側との対話の難しさ、そして何より「わが子の可能性を信じたい」という思いが、深く心に響きました。

私たち JDS は、こうした声を未来につなげていく役割を担っています。制度や支援の在り方が子どもたち一人ひとりにきちんと届くように、現場の声を集め、伝え、変えていくことが、私たちの使命だと考えています。

この記述集が、これから就学を迎えるご家庭にとって、少しでも道しるべとなり、「他にも同じように悩んできた仲間がいる」と感じられる安心材料となれば幸いです。そして、行政・教育関係者の皆さまにも、保護者のリアルな声としてお読みいただき、今後の施策や支援体制の改善につながる一助となることを願っています。

子どもたちがそれぞれの地域で、自分らしく学び、いきいきと育っていけるように——これからも一緒に、声をあげ、知恵を出し合いながら歩んでまいりましょう。

2025 年 7 月
公益財団法人日本ダウン症協会
理事 加野 理代・上地 玲子

目次

1. 基本情報	5
(1) お子さんの性別	5
(2) 就学先都道府県	5
(3) お子さんが在籍している学校・学級	6
(4) 複数籍をお持ちの方は、副の在籍(学級・学校)	6
(5) 特別支援学級に主に在籍している方：学校全体が参加する行事以外で、通常学級 とどの時間に「交流」していますか	6
(6) 通常学級または特別支援学級に在籍している方：運動会、遠足、音楽会、社会科見 学、宿泊行事などの行事に学校からの求めで不参加となったまたは参加について学校 から付添を求められた場合は、その行事内容と学校の措置についての学校の説明(理 由)について教えてください。	7
(7) 特別支援学校 に主に在籍している方：通常学校との交流回数、交流内容について 記述してください	8
(8) お子さんのクラスの児童在籍人数、(9) お子さんのクラスの 担任、支援員(介助員) の人数について記述してください	9
2. 学校の選択について	11
(1) お住まいの市区町村(行政、教育委員会)の就学相談に参加しましたか	11
(2) 上記(1)で、「はい」と回答した方は、その時の感想を記述してください。「いいえ」 の方は参加しなかった理由を記述してください。	12
(3) 上記(1)以外で就学について相談する催しに参加しましたか	16
(4) 上記(3)について、参加した催しの内容と、そのときの感想を記述してください。 参加していない方は、その理由を記述してください。	17
(5) 上記以外で、行政、教育委員会、学校に個別に相談をした経験がある方は、その 内容と感想を記述してください。	21
(6) 上記以外で学校選択のために役立ったことがあれば記述してください。	24
(7) 当初、希望した学校は、何を重視して選びましたか(複数回答可)	26
(8) 希望通りに就学できましたか	26
(9) 上記(8)で「どちらともいえない」「できなかった」を選択した方は、どのような点 で希望通りでなかったかを記述してください。	27
(10) 在籍している学校の教育環境に満足していますか。	27
(11) 満足度についての理由をお聞かせください	28
3. 入学当時の様子	35
(1) 療育手帳(愛の手帳)の等級を教えてください	35
(2) 合併症(複数回答可)	35
(3) その他の合併症を選択した人は、具体的に記述してください。	35
(4) 合併症に関連して学校選択に影響したことや入学後経験したことがあれば、記述 してください。	36
4. 入学当時のお子さんの身辺自立	37
(1) 食事	37
(2) 排泄	37
(3) 着替え	38

5. 入学する際の条件	38
(1) 入学にあたり学校や教育委員会から、付き添いを求められましたか	38
(2) 上記(1)で「はい」にマークした方は具体的な付き添い内容を記述してください.	38
6. 登下校・放課後について	39
(1) 登校はどのようにしていますか(複数選択可)	39
(2) 下校はどのようにしていますか(複数選択可).....	39
(3) 放課後はどのように過ごしていますか(複数選択可)	40
7. 2年生からの変更について	40
(1) 主に在籍する学級、学校を変更しましたか.....	40
8. その他.....	40
(1) 学校選択の過程で良かったと思う経験があれば記述してください	40
(2) 学校選択の過程で困ったこと、改善案などあれば記述してください.....	43

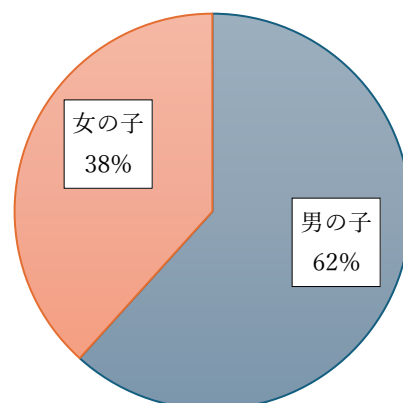
※当アンケート調査の注意点

- ・ 保護者 85 人に回答を依頼し、対応いただいた 47人の回答を集計・分析したものです (回答率:55 %)。従って、偏りのある情報になっている可能性があります。
- ・ 設問ごとに回答を全体(47人)を母数にして、あるいは「通常学級／特別支援学級／特別支援学校」それぞれを母数にして分析しています。
- ・ 自由記述回答については、回答いただいた記述内容は基本的にこちらで認識した主旨ごとに分類し掲載しています。また基本的にはいただいた回答を原文のまま掲載していますが、明らかな誤字や文意の理解が難しい表現は一部修正しています。
- ・ 構成比を表示している表の各項目を合計しても、四捨五入の関係で 100%にならないことがあります。

1. 基本情報

(1)お子さんの性別

性別	人数	割合
男の子	29 人	62%
女の子	18 人	38%
合計	47 人	100%



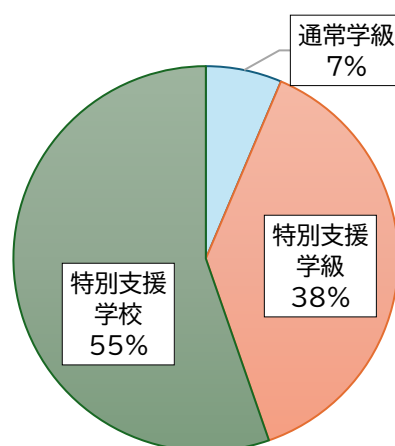
(2)就学先都道府県

地域	回答数
北海道	0 人
東北地方	青森県 0 人
	岩手県 0 人
	宮城県 0 人
	秋田県 0 人
	山形県 0 人
	0 人
関東地方	茨城県 0 人
	栃木県 2 人
	群馬県 2 人
	埼玉県 4 人
	千葉県 1 人
	東京都 17 人
	神奈川県 2 人
	28 人
中部地方	新潟県 0 人
	富山県 0 人
	石川県 0 人
	福井県 0 人
	山梨県 2 人
	長野県 2 人
	岐阜県 0 人
	静岡県 0 人
	愛知県 1 人
	5 人

地域	回答数
近畿地方	三重県 0 人
	滋賀県 0 人
	京都府 1 人
	大阪府 3 人
	兵庫県 0 人
	奈良県 1 人
	和歌山県 0 人
	5 人
中国地方	鳥取県 0 人
	島根県 0 人
	岡山県 2 人
	広島県 2 人
	山口県 0 人
	4 人
四国地方	徳島県 1 人
	香川県 0 人
	愛媛県 0 人
	高知県 0 人
九州・沖縄地方	1 人
	福岡県 3 人
	佐賀県 0 人
	長崎県 0 人
	熊本県 1 人
	大分県 0 人
	宮崎県 0 人
	鹿児島県 0 人
	沖縄県 0 人
	4 人
合計	47 人

(3)お子さんが在籍している学校・学級

学級・学校	人数	構成比
通常学級	3 人	6%
特別支援学級	18 人	38%
特別支援学校	26 人	55%
合計	47 人	100%



(4)複数籍をお持ちの方は、副の在籍(学級・学校)

主在籍学級・学校	副在籍校種	人数	各在籍種別構成比
通常学級	特別支援学級	1 人	33%
特別支援学級	通常学級	8 人	44%
特別支援学校	通常学級	4 人	15%
副籍保持者合計		13 人	28%

(5)特別支援学級に主に在籍している方：学校全体が参加する行事以外で、通常学級とどの時間に「交流」していますか

時間	人数	比率
朝の会、帰りの会	5 人	22%
給食	4 人	17%
音楽	12 人	52%
体育	11 人	48%
図工	11 人	48%
国語	1 人	4%
算数	1 人	4%
なし	3 人	13%
その他	6 人	26%
回答者数	54 人	100%

(6)通常学級または特別支援学級に在籍している方:運動会、遠足、音楽会、社会科見学、宿泊行事などの行事に学校からの求めで不参加となったまたは参加について学校から付添を求められた場合は、その行事内容と学校の措置についての学校の説明(理由)について教えてください。

在籍校種	回答人数	内容
通常学級	2 人	プールの授業 着替えの介助 大人の目を多くしたい。 遠足 親の送迎が必要で仕事休めず不参加
特別支援学級	7 人	運動会で体調管理のため本部席での参加になり、できるだけ本部席近辺で見学してくださいとお願いされた。いつも丁寧に説明をしていただいて、保護者の意見も聞き入れてくださる。 安全のため遠足で途中まで迎えの依頼。人手が足りないの でお祭りの引率の依頼。 交流級の音楽で発表会に向けての練習に参加していました。 ピアノ力が出来ないけど頑張っていますとのことだったので、楽器を鈴が何か本人が出来るものにさせていただけないか?(本人なりに悔しさもあるので)と提案したところそうしてくださるとのことでした。 発表会の 2 週間前くらいになった頃、発表会は支援級の授業参観も同日なので参加しませんと連絡帳にあり…前から授業参観の日は決まっていたし、仕方ないのかも知れないと発表会の参加ができない事は諦めました。 しかし、子どもの気持ちを考えると本人なりに一生懸命やっていたのに大人の都合で出られませんはあまりにも理不尽だと思ったので学校から直接本人に説明してほしいと言いました。 連絡帳で本人納得しました。とだけ書いてあったので、家で話したところ少々残念がっていましたが仕方ないですね。と伝えたところ今年は学校都合で合同でできず申し訳ありませんでしたとの話で終わりました。 遠足時の帰りの迎え距離的には仕方ないと思い行きました。ただ帰り頑張れるところまでチャレンジさせてみたいと伝えましたがそれは却下されました。理由は不明。

在籍校種	回答人数	内容
特別支援学校		遠足や校外学習の送迎
		遠足、運動会、通常学級の時間付添(介助の先生が不足のため)
		入学して最初の遠足 それまで毎日付き添いを求められていた為、その流れで対応。
		毎日の付き添い含め、学校からは、安全に配慮する為というような内容の説明、担任からは他の子供(上級生)の対応で手一杯で個別対応できない(ほったらかしになる)との説明
		運動会の練習、山登り 怪我しないか心配なので付き添って欲しい

(7)特別支援学校 に主に在籍している方 :通常学校との交流回数、交流内容について記述してください

在籍校種	内容
特別支援学校	月に一回、朝の会または帰りの会に参加させてもらっています。放課後ひろばに遊びに行くこともあります。 数ヶ月に一度。学校だより交換。
	1年生の交流回数は5回でした。朝の会、運動会、学芸会、給食、音楽、掃除、帰りの会、図書的时间
	年間三回
	年に3回ほど 附属小学校と地域の地元小学校に交流がありました。
	月2回程度、主に音楽の授業に参加。
	年2回、音楽、体育の授業と一緒に学ぶ
	今年度は近隣の小学校に一度交流会に行き、四年生のお兄さんお姉さんに遊んでもらいました。リモートでも一度交流会があったと思います。
	2年生から年1~2回の交流があります。今年度はまだ経験していません。
	交流回数年一回。行間と一時限交流です。内容はレクレーション的な内容を含んだ体育です。
	1年生の間はお便りのみでした。そこでもっと説極的な交流が必要だと思い、2年生からはイベントやクラスに参加しようと思っています。

在籍校種	内容
特別支援学校	年に一回 ダンスとパラバルーン
	今年度は、諸事情で年一回。来年度より年3回。内容は、自己紹介、歌、ダンス、玉入れ等。
	家庭の希望で交流はしていません。
	年に 2、3 回 小学生とは焼き芋、体育館遊び。中学生とも遊びの交流があった。
	地域の小学校と年3回程度、レクリエーション
	入学時に、1 てがみ 2zoom 等 3.居住区の小学校へ保護者が付き添い 4 しない 以上を選択できた。今年は我が家はしないを選んだ。
	複籍制度を利用して、間接的に年に3、4 回学年だよりなどのお便り交換をしています。
	通常学校の定期通信の受領
	2 回。1 回目は挨拶と自己紹介的なもの、2 回目は体育を一緒に行いました。
	年に2～3回、ゲームやダンスなどを一緒に行う。

(8)お子さんのクラスの児童在籍人数、(9)お子さんのクラスの 担任、支援員(介助員)の人数について記述してください

主在籍校種	児童在籍人数	担任、支援員(介助員)人数
通常学級	30 人	担任 1 人、支援員 1 人
	28 人	担任 1 人、支援員 1 人
	32 人	担任 1 人、支援員 1 人
特別支援学級	主在籍 5 人 副在籍通常学級 36 人	担任 1 人、支援員 1 人
	不明	3 人から 4 人
	主在籍 3 人 副在籍通常学級 23 人	支援学級担任 1 人、支援員全校 3 人、通常学級担任1人
	主在籍 6 人 副在籍通常学級 30 人	支援級担任 1 人、通常級担任 1 人、通常支援級兼任で支援員 1 人
	6 人	2 人
	7 人	担任 1 人、副担任 1 人、支援員不明

主在籍校種	児童在籍人数	担任、支援員(介助員)人数
特別支援学級	主在籍 12 人 副在籍通常学級 35 人	3 人
	主在籍 3 人 副在籍通常通級 20~25 人	支援級、普通級ともに担任1名、普通級で支援員1名
	7 人	担任 1 人、支援員 1 人
	17 人	担任 3 人、補助 1 人、個別指導員(言語?)1 人、補助 2 人
	6 人	担任 1 人、支援員2クラスで1人
	30 人	8 人
	5 人	担任 1 人
	1人	担任1人
	1・2 年合同学級、1 年生 3 人、2 年生 3 人	担任 1 人、副担任 1 人
	8 人	3 人
	6 人	2 人
	3 人	担任 1 人、支援員 1 人
特別支援学校	5 人	1 人
	6 人	2 人
	6 人	担任 1 人、支援員 4 人
	2 人	1 人
	6 人	3~4 人
	7 名	担任 1 人、支援員 2 人
	3 人	2 人
	4 人	2 人
	5 人	2 人
	4 人	2 人
	6 人	担任 2 人、支援員 3~4 人
	4 人	2 人
	6 人	2 人

主在籍校種	児童在籍人数	担任、支援員(介助員)人数
特別支援学校	19 人+訪問 3 人	13 人、訪問担当 3 人
	7 人	3 人
	4 人	3 人
	3 人	2 人
	6 人	担任 1 人、支援員1人
	5 人	3 人
	6 人	担任 3 人
	5 人	3 人
	6 人	3人
	3 人	担任 1 人、副担任 1 人
	3 人	2 人
	5 人	担任 1 人、支援 1 人
	6 人	担任 2 人

2. 学校の選択について

(1) お住まいの市区町村(行政、教育委員会)の就学相談に参加しましたか

主在籍校種	はい	いいえ	相談した割合
通常学級	2 人	1 人	67%
特別支援学級	17 人	1 人	94%
特別支援学校	23 人	3 人	88%

(2) 上記(1)で、「はい」と回答した方は、その時の感想を記述してください。「いいえ」の方は参加しなかった理由を記述してください。

主在籍校種	「はい」と回答した人の感想	「いいえ」と回答した人の理由
通常学級	特別支援コーディネーターの先生とお話をしましたが、支援学校ほど手厚くはできません。ただ、できる限りのことはやります、と言われました。 参加しない予定だったが、学校側から参加するように言われた。支援校、支援学級を勧められた。	個人で相談したから
特別支援学級	支援校判定になることはわかっていて、支援級希望、変えるつもりはなかったのに、茶番的な感があったが、あまり嫌な思いはしなかった。 就学相談で時間をかけたわりには特別な(プラス面)を得る事はなかったと思っています 本人の学びの場を～と何度も言われたが結果的には障害の程度によってで選択肢はない事がわかりました 就学支援委員会で支援学校が適当と出ることは想像できたが、親としては支援学級を望んでいたため、学校とのつながりを深めたかったから。体調面等の心配ごとを直接お伝えすることができ、良かったと思う。	県立の小学校で、市の管轄ではないため
特別支援学級	海外からの転入で別途入学後に相談を行なった。それまでは電話とメールのやり取り。教育委員会は対応は悪くなかった。日本独特の、茶を濁したような説明や進め方が多いのが気になった。 入れるか入れないかわからない状態ではあまり詳しく聞くことが出来なかった	

主在籍校種	「はい」と回答した人の感想	「いいえ」と回答した人の理由
特別支援学級	教育委員会の発達検査の時に元々いた市では〇〇出来ない〇〇取り組まない、途中で辞めたので支援級です。	
	現在の市では〇〇なところ凄く熱心に取り組んでいました。〇〇はとても上手ですね。しっかりしてますね。でも××なところは今のお子さんには課題だと思うので支援級の方が良いと思います。	
	との回答で、同じ結果でも伝え方がとても違いがあり。転居を決めて良かったと改めて、思えました。	
	現状を聞き取りされた程度でした。	
	教育委員会は普通級進学に好意的	
	面談の時に質問をした程度。本人もいて落ち着いてないので、落ち着いて話す時間はなかった。	
	就学相談であまり期待せず参加したが、親の意向に寄り添った対応で、就学後も何かと相談に乗ってもらった	
	何段階も親子でいかなければいけないので、大変だった。パート勤務だったので何とかできた!	
	親身になって話を聞いてくれました。	
	記録を残しただけで、特に助言はありませんでした。	
	親切に対応してくださいましたが、支援学校への進学を勧められて、支援級に進学することに不安を感じました	

主在籍校種	「はい」と回答した人の感想	「いいえ」と回答した人の理由
	直接相談することになる担当者は「決まった結果を知らせる係」というスタンスで全く『相談』ではなかった。3つの検査等それぞれに結果があり、その総合判断で最終結果…という形だったが、結果の取り寄せをしたところ検査結果とは関係無く「ダウン症児」というくくりで最終結果が出されたように思えた。 丁寧に対応してもらい本人の様子もみていただけた やや威圧感のある方がいたが、的確な意見でもあったと感じた。	
特別支援学校	子どもの知的発達を客観的に見ていただき、第三者としての意見を聞く機会は貴重だったなと感じています。 支援学級と支援学校のいずれかで相談を希望したが、支援員は親の希望を尊重して、よく話を聞いてくれた。支援学校に意向を固めてそれを伝えたあとも、支援学級にも学校体験に行き、学校の先生の意見を伺うよう促されたため、支援学校入学決定まで時間がかかった。平日の対面の予定が頻繁に入るため、親の仕事の調整が必要だった。 可もなく負荷もなくといった内容でした。丁寧に業務をこなしてくださいました。 よく話を聞いて下さいました。	行政の相談会はなかった
特別支援学校	支援学級なり学校なり通級なりぜんぜん分からなかったのですが あの会に行けて理解出来ました！ ご希望はできるだけ聞きますよというジェスチャーの裏に、特定の決定に誘導しようとする意図を感じました。ですが、こちらの希望がそのころには特別支援学校に決まっており、相談員の方のお勧めと同じだったので、スムーズに進行しました。	

主在籍校種	「はい」と回答した人の感想	「いいえ」と回答した人の理由
特別支援学校	既に役場に相談済みだったので何事もなく終えた	
	いろいろ参考になったため良かった	
	丁寧な対応でした。	
	就学時健診の時に相談しました。地域ほ小学校の先生とも相談し支援学校に決めました。	
	詳しくお話を聞いたり、不安なことは質問ができたので参加して良かった	
	親切に対応していただきました。	
	当初から支援学校に絞っていたので、あまり悩まずに進めることができました。相談員さんも積極的に当時通っていたこども園に見学に来てくださったり、私達の思いや希望を否定する事なく、同じ方向で考えくださりありがたかったです。	
	緊張感ある場だったが、私達親の希望をしっかりと聞いてもらえた。	
特別支援学校	東京都は支援級や普通級の方が敷居が高いイメージです。我が家は最初から支援学校を希望していましたので、その想定で娘の現状を事細かく聞いていただき、娘の様子も見ていただきました。その後、もう一度進路の確認の電話をいただいて、そこで最終決定となりました。すごく丁寧に対応していただき、娘も楽しそうに過ごしていました。	
	発達に関する聞き取りを細かく行って頂き、療育園にも子供の様子を見に来て下さったり、手厚く対応して頂いたので安心して相談が出来た。	
	予想通りで特に問題はなかった。特別支援学校の判定で、その通りを希望したので、地区の学校担当は安堵したように感じられた。	
	必要な情報が得られてよかった。とても親身になって一緒に考えてくれた。	

主在籍校種	「はい」と回答した人の感想	「いいえ」と回答した人の理由
	説明会に、個別相談に、行かされた。	
	支援学校を希望する方は全員する方針でした。相談と言うよりは、ほとんど保護者の意向に沿って進めていく感じでしたが、一緒に希望の学校へ面談に行って頂き様子を見ていただけて相談員の方と子供の様子を共有出来て良かったと思います。	
	想定通りの進路であったため特に違和感はありませんでした。	
	特別支援学校に行くつもりで、その旨を含めた特別支援教育相談をしました。個別で予約を取るため日程調整の必要がありました。早めに連絡を取らないと都合をつけるのが難しいと思います。	
	親身になって話を聞いてもらえた。 担当者が支援学校の先生だったので、支援学校の雰囲気などを尋ねることもできた。	

(3) 上記(1)以外で就学について相談する催しに参加しましたか

主在籍校種	参加していない	障害者団体主催の催しに参加した	特別支援学校主催の催しに参加した	その他	その他の内容
通常学級	0人	0人	1人	1人	児童発達支援の事業所の催し、JDS支部の就学相談
特別支援学級	3人	6人	8人	0人	
特別支援学校	7人	4人	14人	0人	区の相談会

(4) 上記(3)について、参加した催しの内容と、そのときの感想を記述してください。参加していない方は、その理由を記述してください。

主在籍校種	参加した人の理由	参加しなかった人の理由
通常学級	特別支援学校の見学会に参加しました。	個人で相談したから
	先輩方の体験談を聞き、検討しました。	
特別支援学級	就学相談や進学についての勉強会。先輩保護者の話が聞けてよかった。	学校見学に行ったくらいで、どういう催しがありかわからなかった
	見学	特に必要と感じなかった
	親が支援学校のことをわかっていなかったのもあって、詳しく話を聞くことができ、自身の疑問等も質問できたので、気持ちが固まる良いきっかけだったと思う。	把握していなかった。
	相談会ではなく、見学会に参加。新設の学校で綺麗で配慮が行き届いた学校だった。授業が見れなかったのであまり感想がない。	
特別支援学級	NPO 法人の就学相談	
	1つ1つの物事に支援、補助ツールがあり、理解を促すのにわかりやすい工夫があって、いい環境だと実際に見学、体験できてわかった。	
	支援学校説明会。説明会では在校生が多く受け入れが難しいため、必ず普通学校を見学してから入学先を決めてほしいと言われた。後ろ向きな印象だった。	
	見学会の時に相談時間があったが、本人がいて、落ち着いて話す時間はなかった。	
	説明会 学校の様子などイメージできた	

主在籍校種	参加した人の理由	参加しなかった人の理由
	療育施設で聞いた。施設と先輩ママから話が聞けて良かった!	
	支援学校の見学会に参加し、専門的なご指導に魅力を感じましたが、自宅からあまりにも遠く通学への不安を感じました。	
	就学前の子を持つ親と小学校在学中の子を持つ親の情報交換会に参加。学校を選びで考慮すべき点を共有していただき大変参考になりました	
	小学校在学中のダウン症児の保護者の経験などを聞く催しに参加した。自治体によって状況や仕組みが違い過ぎて、伺った内容を活かせなかった。	
	近い年齢のお子さんがいらっしゃる方の体験談でとても参考になった	
特別支援学校	就学相談を検討している保護者向けの相談会でした。あらかじめ聞きたいことを決めて臨んだので、質疑応答時間があって良かったです。	知らなかった
	支援学校の学校見学と、支援学級の学校公開に参加した。各学校の先生や授業の様子がよくわかり、就学先を考えるにあたりとても参考になった。	特に他にあるかわからなかった。
	小学部全体の教育目標や実際の時間割、教科ごとの内容等の説明がありました。具体的な内容だったので、小学校への不安感が和らぎました。	早く希望の学校を見つけられたので、参加する必要性がありませんでした。
	学校見学にうかがい 実際に見れてイメージがわきました。	行く機会がなかった。

主在籍校種	参加した人の理由	参加しなかった人の理由
	障害者支援施設の修学相談のラーニングプログラム。とても参考になりました。	支援学校しか考えていなかったの で。
	実態を見れてとても参考になった。	必要性を感じない
	実際の体験談を聞いたので、大変参考になった	情報がなかった
	雰囲気を知れて参考になった	
	支援学校は先生も沢山いて、個人の成長に合わせて支援をしてくれるのでとても手厚いなと思いました。	
	保護者の不安や子供の様子などを丁寧に聞いて下さいました。	
	見学説明会でした。支援学校の先生が個別に相談に応じてくださり、進学先選択の参考になりました。	
	子ども達がわかりやすい授業をされていると思う。	
特別支援学校	ダウン症協会の茶話会に参加して、先輩ママさん達の話聞きました。皆さん悩みに悩んでいて大変なんだと思いました。 学校(校舎や設備など)の見学、カリキュラムや1日の流れの説明、活動の体験など。実際に通われているお子さんの様子も見る事が出来て良かった。 学校についての説明と、在校生の授業参観。詳しく知ることができて安心した。 支援学校はAI やタブレットを使いわかりやすかった	

主在籍校種	参加した人の理由	参加しなかった人の理由
	学校公開があった時に就学相談があったので参加しました。肢体不自由部門と知的障害部門がある学校で、うちの子はどちらが良いか悩んでいたの で両部門の相談を受けました。詳しく 違いや支援の仕方をお聞き出来てと ても参考になりました。	
	早め(保育園の年中クラスのとく)に 学校主催の見学会に参加。校舎や設 備の古さなど気になる点も多少あつ たが、そこにいる子供たちの楽しそう な様子や、校長・副校長の言葉から感 じ取れる優しさや誠実さに触れ、安心 できた。	
	特別支援学校の説明会では、発達支 援の必要で参加している人が多くな っているようで、そちらの説明が意識 されていました。	

(5) 上記以外で、行政、教育委員会、学校に個別に相談をした経験がある方は、その内容と感想を記述してください。

主在籍校種	内容
通常学級	地域の学校に比べて、広々としており、教員の数も多く、手厚さを感じました。 個別で保育園を通して教育委員会に相談。 就学希望の学校の見学、体験を計画して頂き、就学後の想像が出来安心できた。
特別支援学級	学校や療育の先生方 相談員さん に就学の心配事や相談をしました 本人を理解してくれているからこそその言葉を下さり決心もできました 翌々年の学年の進級をその年の 6 月までに考えなくてはならないシステムが、子どもと保護者ではなく学校と役所のシステムに合わせなくてはならないのが早急すぎて、判断にとっても困る。 学校には地元小学校、県の支援学校市の支援学校といき、地元小学校、健の支援学校は受け入れてくれそうな雰囲気でしたが市の支援学校は定員がとても少なく受け入れてくれなさそうな対応でした 学校とは関係ないですが、家庭環境から就労は必須なので学童を申し込みについて 他動ではないが、許可もなく出る可能性があるので、部屋を出ていけないようにだけしてほしいと伝えたら無理ですとの回答。 話を聞いてみたら習い事に行くお子さんも鍵の開閉の管理もまともにしてない様子だったのでその旨行政へ伝えに行きました。 学童の説明文にもある通り障がい児の受け入れについては 5 項目ほど規定があり 説明をお願いしましたが仕方ないです。 茅ヶ崎の精いっぱいですとのことでした。 ちなみにこの学童は入り口で指差しで室内を説明するのみで雑な対応だったので、そのあたりもしっかり行政に伝えましたが何も変わらず今年も色々問題を起こしているようです。

主在籍校種	内容
	普通学校の見学から数日後に入学希望を伝え、個別面談となった。どのような支援を希望するか、学校側が対応できるかについて話し合った。ペーパーでの提示を求められたため、ダウン症の概要や子供の障害の程度、心身の状態・発育状況、園での様子、支援してほしいことをまとめて説明した。少しは理解して頂けたようだが、資料作成に時間がかかった。 教育委員会や校長先生と介助について相談しました。 入学後、教育委員会に付き添いの件や先生・介助員の対応について相談。学校(校長)に付き添いについて相談。 相談することで改善、先生の対応した。 行政との懇談会に出席し、個人的にも担当者に会ったときに困り事や気になる事など話している。 主に、教員の障害児支援に関する知識、対応力の向上や指導・サポート、区内全体の対応の統一など。 学校から学童への移動支援が見つからず、行政に連絡してギリギリで決まった! 小学校 情緒のクラスに入り科目数を獲得したいと相談しました。 息子が通っていた保育園のお友達が多数入学する小学校への越境入学を希望するため、行政に相談しましたが、一切柔軟に対応して下さらず、越境入学は叶いませんでした。 相談しようとしたが、それぞれ学校は教育委員会、教育委員会は行政、行政は学校に相談するようにいうだけで相談できなかった。
特別支援学校	副籍を置く小学校に支援学級がなく、支援教室という形で児童の巡回指導があると聞いていたので、もし入学した場合に、どのように支援をしてもらえるのかを巡回指導の先生に伺いました。通常学級に在籍しても加配をつけることは出来ないし、支援教室としてフォローできるのは週に1～2回程度で、求めるような支援は出来ないとの回答だったので、当時はすごく残念に思った気がします。

主在籍校種	内容
特別支援学校	本人が、足の装具を使用している関係で、身体障害の方中心の特別支援学校への入学を勧められましたが、装具が将来的に外す方向でリハビリしている事、知的の特別支援学校が望ましい旨を整形の先生や PT の先生に書類を書いてもらって市に提出等して大変でした。 また姿勢保持が難しい関係で、座位保持椅子を作成したのですが、学校の椅子に後付けするタイプのもので、学校側は 4 月に入ってからでないと児童の椅子は決定しないとの事で、4 月に入ってから採寸しに学校へ行き、業者さんにオーダーで作成して、実際に業者さんと PT の先生にたちあって椅子に設置したのが、7 月になりました。年末から学校と椅子の件でやりとりしながらも、学校基準に物事のスピードを合わせなくてはならず、大変でした。せめて 3 月下旬にでも採寸させて欲しかったと思います。 地元のダウン症サークルからの紹介で役場へ相談に行き、相談から就学までスムーズに行うことが出来た。 特別支援学校に学童がないのは困る。どうしてか。→分からない。 市の進学教育相談？を受けました。臨床心理士による知能テストを受けました。その際細かい話をできたことで、進学先を決めることができました。 通学区の小学校に個別の教育相談に行った。1 年生の間は、基本通常学級で過ごすことを聞き、支援学級の先生や支援員さんがつくとはいえ、授業内容がわからない時間をただ過ごすのは向かないと思った。 地域の小学校の先生達と相談し話しました。保育所のお友達がほとんど同じ学校なので支援学級に行かせたいと思い相談したら、とにかく支援学校に行った方がいい、ここに来てもしてあげれる事はないと言われて、小学校は学習する所なのでお子さんには学習なんて無理だし、お友達とコミュニケーションなんて全然無理でまだ必要ないと言われました。この小学校には安心して行かせれないと思いました。 学校に個別対応して頂いた。知的の支援学校だが子供に身体障害(体幹)も重複している為、支援の仕方や移動、食事の形態など心配な事が多く直接コーディネーターさんから説明を受けた。ほぼ全介助なので、より手厚い支援が受けられる重複学級への所属を希望としてお伝え出来た。

主在籍校種	内容
特別支援学校	入学した特別支援学校に設置の児童発達支援の先生に就学先について相談し、支援学校入学を決めた。
	地域の小学校に、障害児の受け入れ状況を聞いた。情緒の子が多く、ダウン症の受け入れはなかったと言われた。
	地域の公立校の支援学級の見学に行った(本人が年中の時)。コーディネーターの先生は前任が支援学校だったこともあり、こちらの質問に分かりやすく答えてくれた。他の担当の先生方は、人によって技量に差があると感じた。

(6) 上記以外で学校選択のために役立ったことがあれば記述してください。

主在籍校種	内容
特別支援学級	上の子が同じ小学校で、親の私も市立幼稚園に勤務していたこともあったため、学校とのつながりがあり、話しやすい環境であった。
	市内の支援級に通う子どもを持つ親の会での交流。たくさんの経験談を聞くことができる。
	学校への送り迎えが自分の仕事に支障ないことが、子どもに申し訳ないけど1番の理由でした。支援学校では、家を引っ越すことも簡単ではなくてはならず、高学年になったらもしかして転校もあるかもしれないと悩みながらもまずは地元小学校を選択しました
	事前にとことん話し合っておくこと 口約束は当てにならない
	兄2人が既に小学校に通っていたので、学校、学童も受け入れてもらいやすかった気がします。
	・要望です。障害の知識が少ない方向けにダウン症の概要がわかる資料があると嬉しいです。
	区外の方、支援団体等の関係者へ相談した。地域で見れば当たり前のことが、社会全体で見るとおかしいこともある。 他地域での話を聞くことで、就学に向けてぶれない考えを持って進めることができた。
	先輩ママの情報
	学校公開

主在籍校種	内容
特別支援学級	支援員さんからの情報 自分の足で学校をいくつか見に行きました。
特別支援学校	発達フォローしてくれている主治医の意見。 学校体験、学校見学などはたった 1 時間では見えないことが多いので、やはり普段子供をよく見てくれている療育の先生の意見が役に立ちました。 ダウン症協会の会報 区の親の会での LINE でのやり取りを参考にしました。 学校見学 友人(同じダウンの子を持つ)に相談 学校見学、授業の体験 通える範囲での支援学校の候補が二カ所あったので、何回も見学に行きました。その度に新しい発見があり、学校の先生方も親身に話してくださったので、就学先決定に役立ちました。また、療育園の先生は方は、「最終的に親がここでいい(ここがいいではなく)っていう場所が 1 番いいと思う。希望を言い出したらキリがない、(ここでなら大丈夫かな)という落とし所があるなら、そこで決めていいと思うよ。」と言ってくれたのが、肩の力が抜けて少し俯瞰で見ることができてよかったです。 支援学校、地域の小学校、それぞれ見学や体験をしてみてシンプルに行かせたいと思った所を選んで決めたらいいかなと思います。 学校の見学、体験入学 上に兄二人がおり地域の学校に通っていたが、その学校は小規模のため特別支援学級がないなど、通常の学校の状況が分かっていたことは、支援学校に決める後押しとなった。 先輩ダウン症のママさんから、教えてもらった。 当初はインクルーシブも考えていたが、近隣学校の支援級の実態(どのくらいできる子が通っているのか)を見て、自分の子供の位置を実感できたことで、踏ん切りがついた気もする。

(7) 当初、希望した学校は、何を重視して選びましたか(複数回答可)

選択肢	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
家から近い	2 人	8 人	3 人
登下校がしやすい(送迎バスがあるなど)	2 人	2 人	6 人
きょうだいと一緒に通える	2 人	3 人	0 人
保育園、幼稚園の友達と一緒に過ごせる	2 人	3 人	2 人
障がいのある仲間と一緒に過ごせる	2 人	0 人	0 人
地域の中で生活させたい	1 人	8 人	2 人
障がいの有無にかかわらずともに学び遊ぶ経験をさせたい	2 人	8 人	0 人
子どもの発達状態に合わせた支援が得られる	2 人	9 人	16 人
子どもへの支援の手厚さ	2 人	6 人	13 人
学校の設備が整っている	1 人	5 人	3 人
学級が少人数で1人当たりの先生、支援員が十分である	0 人	3 人	4 人
学級はそれなりの規模があり多くの同級生と関わりが持てる	0 人	2 人	1 人
子どもに学力をつけさせたい	0 人	3 人	0 人
子どもが楽しく通える	0 人	12 人	6 人
子どもの希望	1 人	0 人	0 人
その他	1 人	0 人	1 人

(8) 希望通りに就学できましたか

主在籍校種	できた	どちらとも言えない	できなかった	その他
普通学級	3 人	0 人	0 人	0 人
特別支援学級	14 人	2 人	1 人	1 人
特別支援学校	24 人	2 人	0 人	0 人

(9) 上記(8)で「どちらともいえない」「できなかった」を選択した方は、どのような点で希望通りでなかったかを記述してください。

主在籍校種	内容
特別支援学級	支援学校と地元小学校で目指す支援の手厚さ、人との関わりの多さなどそれぞれ特徴があり、どちらも良いのでどちらがよりよかったのか判断できない 上記に回答してきた通り 放課後デイの行かせたいところは空さがなく 放課後デイと学童を併用させたかったので 1 月半ばでの学童の結果は致命的でした。 慌てて放課後デイも探し直そうとしましたがまともな資料もなく 相談機関も昼休みは留守電でしたので茅ヶ崎での生活は諦めました。 保育園のお友達が多数通う小学校に越境入学したかったが希望は叶わなかった。現在在籍している小学校は知的クラスがなかったため入学させる事に不安があった。 支援級の学習内容と本人の能力を思うと、支援学校が適切だったのではと思う。
特別支援学校	地域の小学校には入学出来なかったが、副籍校として交流できているので、結果的に良かったなと思います。支援学校の教育環境にも大変満足しています。 当時、支援学級と支援学校の両方共に行かせたいと思えなかった。

(10) 在籍している学校の教育環境に満足していますか。

主在籍校種委	満足度平均得点 (5 点満点)	満足度 5 点満点中 4 点以上の個数	満足度 5 点満点中 3 点以下の個数
普通学級	4.67	3 人	0 人
特別支援学級	3.94	12 人	6 人
特別支援学校	4.38	24 人	2 人

(11) 満足度についての理由をお聞かせください

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
普通学級	支援担当の先生に本当に細やかに対応していただいています。また、通常級の担任の先生がたまたま前年度兄の担任だったので、面識があったのも大きいです。 学校の皆さんに愛されている。と感じている。 1 年生という事もあり手厚く支援して頂けた	
特別支援学級	勉強の課題も個々に出してくれる。思った以上にこどもが楽しんでいる。	スパンコールの洋服禁止 (支援級所属の他者が触るからとの理由でしたが、納得いかなかったので着せて行かせていたら本人が触って授業に集中出来ないとの話に変わったので着せるの辞めました) ワンピース禁止(遊びづらいからとのこと。これは仕方ないか?と思いつつ練習としては必要な?とも思いますが、ズボンにしています。スカートは休みの日に) 交流級入室時に「失礼します」退室時「ありがとうございました」と言わされている その他思い出せませんが小さいことは色々あります

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
特別支援学級	親が思っていた以上の先生方の配慮や 本人への柔軟な対応をしてくださっ ているので満足しています	・人手が足りない
	小学校が 1 学年 1 クラスの小規模校な こともあり、多くの上級生からも可愛が ってもらえている。また、支援学級に行 く時は「行ってらっしゃい」「行ってきま す」と声をかけ合う等、普通学級の中 にもしっかり娘の居場所がある。でき るできないの価値観でなく、一人一人 の得意なことを認め合えるクラス運 営をしている。	介助員が不足している理由 で、親が通常学級の時間(毎日)に 付添をしなくてはならなかったから
	学校全体と生徒の雰囲気がい い。風通しが良い。先生たちも協 力的。オープンである。	人と関わることを好む性質から、 地域の中でいろいろな子供たち、 関わる大人と共に学び経験を積 むということが一番大切にしてい るので、その意味では希望に沿 った環境と感じている。 授業のカリキュラムについても 普通級とは違い、課外授業が充 実し、学年に関係なく成長状況 に応じたグループ分けで学べる 時間もあるのが良いと感じて いる。 ただ、特別支援学級と言うもの の、個別の対応や配慮の仕方 等、障害児への特別支援、合 理的配慮とは言い難い。

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
特別支援学級	先生は子の成長をよく考えてくれて環境も刺激となりとても良いですが、子の排泄自立がまだできていなく、教室でオムツかえしてもらっているのがとても申し訳なく、臭いなど迷惑かけているなど専用のおむつ替えベヤがあればなど賛否な悩みがあります。	支援級の担任との連絡は密に取れるが交流級の先生と保護者とのつながりはない
	苦手な勉強面も伸ばしてくれ、通常学級との交流もでき、楽しく通えて、本人の成長が大きく見られたから。	個別というわけにはいかないのが現実か。
	家から近く、姉妹と一緒に通えているので。	個別によく見てもらっている方だと思いますが、クラス全体の授業進行が優先で、本人個人の課題や目標が薄らぎがちかなと感じる事がありました。
	先生も支援員さんも 1 人、1 人の子ども達を大事にしてくれています。 担任が怒鳴る先生で 1 学期から改善を求めましたが、改善されず、3 学期には息子のメンタルが崩れて、2 月半ばから計画的な不登校を実地しています。ダウン症でも教え方でどんどん学習が出来るようになってすいますが、学校の先生はダウン症＝勉強できない、知的クラスが当たり前という概念が外せないように、家や理解ある家庭教師などに頼って、勉強しています。 ダウン症でもしっかり教えてくれる、支援級でも支援学校でもなく、知能を上げてくれる場が欲しいなと考えています。	

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
	知的クラスが息子と入学と同時に新設されたため、どのような学校生活となるか不安が大きかったが、担任の先生が息子の成長に寄り添った授業や学校生活のサポートをしてくださり、息子が毎日楽しく学校に通う事ができているので大満足です。 教育の質が素晴らしい。子供の自立を促す教育。色々な経験をさせてくれる 知的固定学級だが「障害児」はほとんど在籍しておらず、知的な遅れがあまり無い子が多く、授業内容も通常級に近い。特別支援教育に力を入れている学校なので、排除されることがない。	
特別支援学校	比較的新しい校舎で綺麗だが、児童数が増えて教室が狭いクラスがあるので。 担任の先生から毎日の様子について報告があり、手厚い支援があると感じる。摂食指導やトイレトレーニングを学校で取り組んでくれることはありがたい。ただ、支援学校の児童の人数が急激に増えており、行事が一部行えない状況になっているなど、学習環境の維持に不安感がある。	先生達は一生懸命やってくさるから。

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
特別支援学校	先生や学校の設備、手厚さにはとても満足していますが、特別支援学校なので障害のある子供しかいないところが残念です。	
	個別によく見てもらっている方だと思いますが、クラス全体の授業進行が優先で、本人個人の課題や目標が薄らぎがちかなと感じる事がありました。	
	1人1人に合わせた手厚い支援をして頂き 毎日明るく通えていて ありがたいです。	
	大きな不満はありませんが、進学して1年で溶連菌感染症に8回もかかっており、学校の感染症対策が不透明で、その点には疑問を感じております。	
	個々人に合わせた授業や少人数制で先生方の支援が行き届き、安心して通わせることが出来ている。	
	支援が手厚く、子供も楽しく通えているため	
	先生達は一生懸命やったださるから。	
	普通の保育園に通っていたので、最初は戸惑う事もありましたが、すぐに慣れ毎日嫌がらずに楽しく通えている	

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
特別支援学校	子供 1 人に対し先生や支援員さんが 1 人ついてくれるマンツーマンの対応をしていただけているので安心です。 この地域は田舎なので利用できる社会資源は少ないですが、学校として障がいのある子とそうでない子と交流できる環境を整えています。	
	手厚く見ていただいています。	
	連絡帳で日々の様子も細かく報告していただき細かく対応していただいているのがわかる。本人が楽しく通えている。	
	まずは自分で歩けるようになってほしい、というのが 1 番の願いでした。なので肢体不自由の学校に通い、この 1 年で少しずつ歩けるようになりました。毎週歩く練習を学校でしてくださり、いつも連絡帳で「こんなことができた」「今はこんなことを練習してます」と毎日教えてくれ、片手補助での歩行や少しだけ自分で歩けるようになった時は動画にとってくれ、私たちに共有してくれました。一緒にできることを喜んでくれて、課題を乗り越えるサポートを全力でしてくださって感謝しかありません。	
	子どもは楽しく通っていて、よく成長もしていてよかった。先生方は工夫されて授業等をされているが、学校全体的に人数増加で教室数も足りなく、人数対しての教室が狭かったり、運動場や体育館が小さかったりするので、環境としては整っていないと感じる部分もある。	

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
特別支援学校	とても手厚いので安心感もあり子供も楽しく通えています。お友達とのコミュニケーションが充分に取れる環境ではないので物足りなさを感じています。	
	安心して預けられる。本人も毎日楽しそう。	
	スクールバスで片道50分かかり遠いことが難点ではありますが、それでも本人がとても楽しそうに通っています。手厚く指導していただきながらも、娘がのびのびと過ごせていることが本当にありがたく思っています。	
	内容は満足しているが自宅から遠いので、急な体調不良や災害時のお迎え対応に不安がある。障害特性から、公共の交通機関も利用し辛い。	
	本人の意欲、興味が重要視されていて、とても楽しく通っている。 自閉症の子どもに対する視覚支援、コミュニケーション支援などが足りておらず、同級生があれることがある。	
	子供に必要な支援が得られており、1年生を終わりに迎えた今、とても成長を感じるから。	
	支援学校なので手厚い	
	就学から 1 年たって、自分で出来ることがたくさん増えました。毎日楽しく学校へ通う事も出来ており、学校の環境や先生方の支援にはとても感謝しております。すこし気になる点は、もう少し国語や算数などで文字を書いたり数を数えるお勉強をしてもらいたいです。	

主在籍校種	満足度 5 点満点中 3 点以上の人の理由内容	満足度 5 点満点中 2 点以下の人の理由内容
特別支援学校	校舎や設備の古さ	
	都立ということもあり支援が手厚いです。	
	本人の発達段階に合わせた指導をしてもらい、入学前には考えられなかった成長が見られた。	

3. 入学当時の様子

(1) 療育手帳(愛の手帳)の等級を教えてください

主在籍校種	取得していない	軽度	中度	重度	最重度
通常学級	0 人	0 人	3 人	0 人	0 人
特別支援学級	0 人	5 人	7 人	5 人	1 人
特別支援学校	0 人	0 人	10 人	11 人	1 人

(2) 合併症(複数回答可)

主在籍校種	心臓	聴覚	視覚	その他合併症	合併症なし
通常学級	0 人	0 人	0 人	0 人	3 人
特別支援学級	4 人	2 人	8 人	3 人	7 人
特別支援学校	6 人	7 人	9 人	10 人	0 人

(3) その他の合併症を選択した人は、具体的に記述してください。

主在籍校種	内容
特別支援学級	てんかん
	甲状腺機能低下症
	弱視
	扁平足
	頸椎環軸関節亜脱臼

主在籍校種	内容
特別支援学級	咀嚼困難
特別支援学校	先天性甲状腺機能低下症
	鎖肛
	胆道拡張症
	甲状腺機能低下症
	鼠径ヘルニア
	ウエスト症候群
	難聴
	体幹が特に弱い(身体障害手帳体幹 3 級)。歩行にふらつきがあり、すぐに座り込んでしまう。咀嚼機能がなかなか発達せず、ペースト食。
	停留精巣

(4) 合併症に関連して学校選択に影響したことや入学後経験したことがあれば、記述してください。

主在籍校種	内容
通常学級	頸椎については配慮をお願いしています。
特別支援学級	入学前に、1 人だけ日中も色の違った帽子を被って欲しいと要望がありました。 幼稚園の姿を見て身体的に不安だったら、言って下さいと申し出ると見学に行かれて、子供の様子から問題ないと判断されました。 最初から特別視されていて不愉快でした。
	体育の内容を選択する、給食を刻んでもらう事ができるか確認した
特別支援学校	この2月に鼠径ヘルニアと停留ヘルニアの手術を受け、完治しました。
	手術の予後が順調なので、大きな制限は無く特に影響は無い。 入学後は心臓の人工血管入れ替え手術の為、1ヶ月ほど欠席した。

主在籍校種	内容
	聴覚の問題と知的な問題もあったので、支援学校のクラスの始まりに、これからクラスでやることの流れをカードにして生徒に伝えるところは、きっと本人にとって分かりやすいだろうなと思いました。 息子の場合、てんかんでの発作は起こらないため、座薬は必要ありませんが、医療的な部分を見ても支援学校の方が看護師さんが在籍しているので安心でした。
	移動もひとりでは危ないので、より教員の数が多い支援学校の重複学級を希望した。食事に関しても自食出来ない事やペースト食のため、それに対応して頂ける学校しか選択肢がなかった。
	ろう学校への進学も考えましたが、身体の面で心配な部分が大きかったのでしっかり手厚く見てもらえる特別支援学校へ進学しました。しかし、特別支援学校だと手話を使っの支援がろう学校に比べたら不十分で、今まで手話を使って来たけど子供からの手話の発信が入学後減った様に感じました。
	眼鏡をかけ始めたばかりのところ、授業で積極的にかけるよう促してもらえました。おかげでかなり早くかけ慣れたと思います。

4. 入学当時のお子さんの身辺自立

(1) 食事

主在籍校種	介助必要度平均得点(5点全介助)
通常学級	1.33
特別支援学級	1.67
特別支援学校	2.00

(2) 排泄

主在籍校種	介助必要度平均得点(5点全介助)
通常学級	1.67
特別支援学級	2.28
特別支援学校	2.81

(3) 着替え

主在籍校種	介助必要度平均得点(5 点全介助)
通常学級	1.67
特別支援学級	1.94
特別支援学校	2.35

5. 入学する際の条件

(1) 入学にあたり学校や教育委員会から、付き添いを求められましたか

主在籍校種	はい	いいえ	その他	その他の内容
通常学級	0 人	3 人	0 人	
特別支援学級	4 人	13 人	1 人	結局必要ないことになったが、可能性はあると言われ結局必要かどうかは入学式まだ連絡がなかった。
特別支援学校	2 人	23 人	1 人	学校が遠いので祖父が送迎してくれてます

(2) 上記(1)で「はい」にマークした方は具体的な付き添い内容を記述してください

主在籍校種	内容
特別支援学級	登下校をクラスまで
	通常学級の時間、排泄時
	付き添い登校し、下校時間まで見守りや支援。入学から 5 月半ばまで対応。
	毎日、教室内までの付き添い。 本人は、1 人で行けるので「ママいいよ一行ってー」と言うが学校からは、教室までの階段が危ないからと言われる。
	途中から人手が足りないと言う事で運動会の練習を付き添いました。 その時に、体罰的な指導を他の子にされているのを見て、危険を感じて、自ら授業も付き添える時は付き添うようにしました。

主在籍校種	内容
特別支援学校	初回のクラス、給食の際に付き添い、どのようにトイレをするか、歩行するか、給食はどのように食べさせているかを共有しました。
	最初の3日は一緒に登下校、あと2日一緒に登校しました。

6. 登下校・放課後について

(1) 登校はどのようにしていますか(複数選択可)

主在籍校種	保護者 (祖父母) と一緒に 登校	きょうだ いと一緒に 登校	集団登校	ひとりで 登校	スクール バスで登 校	移動支援 を利用	ファミリ ーサポー トを利用
通常学級	3人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
特別支援学級	14人	1人	0人	1人	2人	0人	0人
特別支援学校	11人	0人	0人	0人	19人	0人	0人

(2) 下校はどのようにしていますか(複数選択可)

主在籍校種	保護者 (祖父母) と一緒に下 校	きょうだ いと一緒に 下校	集団下 校	ひとりで 下校	スкуль バスで下校	放課後 等デイサ ービスの送 迎を利用	移動支 援を利用	ファミリ ーサポー トを利用
通常学級	1人	0人	0人	0人	0人	3人	1人	1人
特別支援学級	7人	0人	1人	1人	2人	13人	3人	0人
特別支援学校	5人	0人	0人	0人	14人	23人	1人	0人

(3) 放課後はどのように過ごしていますか(複数選択可)

主在籍校種	放課後等デイサービスを利用	学童保育を利用	自宅(祖父母宅も含む)	塾・習い事など	その他
通常学級	3人	2人	0人	1人	0人
特別支援学級	5人	7人	4人	0人	0人
特別支援学校	26人	2人	11人	2人	0人

7. 2年生からの変更について

(1) 主に在籍する学級、学校を変更しましたか

所属の変化	人数
通常学級から支援学級	0人
通常学級から支援学校	0人
支援学級から通常学級	0人
支援学級から支援学校	2人
支援学校から支援学級	0人
変更なし	45人

8. その他

(1) 学校選択の過程で良かったと思う経験があれば記述してください

主在籍校種	内容
通常学級	保育園でのお友だちや、地域の方と顔見知りになれることを願って地元の学校に進学しました。支援の先生やお友だちに恵まれたこともあり、想像以上にスムーズな就学になりました。
	普通級推奨派の方に就学のサポートを受けた事
	地域の児童との交流

主在籍校種	内容
特別支援学級	特別支援校に見学に行くにも相談員同行で個別見学をさせてくれてとてもよかった。支援校判定だが支援級に行かせたかった。特に強い反対はなく、よかった。
	大きな集団生活も慣れ運動会や発表会、沢山の行事に参加できた事で本人の成長はもちろん、サポートしてくださる先生方、お友達に恵まれて良かったなと安心して学校に送り出せています
	保護者の思いを幼稚園や就学相談で学校に伝え、就学に向かってどんな力が必要なのかを一緒に考えて実行出来たこと。ただ支援学級が「絶対」ではなく、選択肢の第一であって、無理だったら転校もやむなしであることも視野に入れていた。
	複数の学校を見学して話を聞いた。
	いろいろな選択肢を知れたこと
	赤ちゃんの頃から子育て支援センターへ行き、見て学ばせたくて障がい有無関係ない環境で育ててきました。 保育園では加配もつかずお友達に助けってもらったり先生達に工夫して頂きながら、やってこれていました。 人としては当たり前で普通級に行かせるべきだとは思っていますが、まだまだ日本の現場は理解が薄く子どもを苦しめると思い 放課後、休日は地域の子供達と共に育てたいと思っていますが小学校に入るとそれも難しい現実ががっかりと共に、つい守りたくなりますが、チャレンジも大切という信念は曲げたく無かったので引っ越しを選択しました。 結果、最初は娘を戸惑わせてしまい親子共々苦しい時期もありましたが学童でもご理解頂けることも増え交流級でも少しずつ関わるお友達も増え環境は整ってきています。 モヤモヤは消えませんが、結果オーライかな？と思っています。 こういう選択が出来たのも地域の友人達の情報からボランティアさんを紹介していただいたり沢山助けていただけたことです。色んな選択肢が増えることを祈ります。的はずれな回答かも知れません。申し訳ないです。
	就学相談の結果、特別支援学校相当だったが、小学校には拒否やそれに似たような事は言われず、支援学級で受け入れてくれて、入学前に学校の先生と必要な支援や希望することなどを双方で話し合える場があり、安心できた。

主在籍校種	内容
特別支援学級	親の会の保護者から情報や経験談を聞いたこと。
	教育委員会の就学相談がとても良い担当者だった。入学後も何かと困ったときに相談できたことでとても支えになった。
	姉妹と一緒に。学童にも友達が出来たため通常級の友達が多い。
	引越しをしてある程度距離のある場所を選びました。脚力がかなり上がり鍛えられました。通学もお友達と仲良くしながら楽しく通っていました。
	支援級への進学は不安な点多かったですが、勇気を出して進学して良かったと思っています。
	親の会の情報交換会
	就学相談迄に先輩保護者の話を聞いてイメージをもてたのでどこまで介助してもらえるかなど質問しやすかった
特別支援学校	就学相談が始まる前に、夫としっかり話し合って保護者としての希望の擦り合わせをしたこと。ゴールが決まっているので、相談途中で迷ったりしなかった分、気持ちの面で楽でした。
	学校公開などを利用して、授業や先生、生徒のなどの様子を見に行き行って掴んだうえで、両親で話し合い、ある程度意向を固めてから就学相談を受けたことで、保護者の意向を明確に伝えられたと思う。
	本人の体力のなさから、1週間学校通学する事は本当に大変で、水曜日には疲れていました。スクールバスで15分の距離に学校がある事で何とか通い続ける事が出来ました。
	支援学級 支援学校 附属特別支援学校と3校見学に行き ウチのコがもし入学したらどうなるか イメージすると 地域の支援学校では 激しい子に先生が付きっきりで うちのコはずっとその場から離れず大人しく過ごせました！となりそうでしたが 特別支援学校は手厚く 何の心配もいらなないと思い受検しました。
	特別支援学校や特別支援学級の見学や体験を通して、考えが固まりました。
	地域のダウン症コミュニティがある為、相談しやすくスムーズに動けた
	支援学校の体験入学
	1番は本人が負担なく楽しく通学できることを考えて選択したことです。
	同じ学校に何回も見学に行くこと

主在籍校種	内容
特別支援学校	地域の学校の見学会
	それぞれの学校を見学して雰囲気を見れた。
	個別で相談が出来たことが良かった。それぞれ発達状況や支援して欲しいポイントも様々なので、全体の説明会では聞きづらい事も質問出来て安心出来た。
	学校見学や、親子での半日体験入学。
	2歳上の兄が入学する前の就学相談時に、下の子の相談もしたことで、早めに情報を得られ、心構えができたこと。
	通っている先輩ママさんがいて、生の声をきけた
	学校公開へ行って直接お話を聞けて良かったです。
	支援学校、支援学級の見学に行けたこと。

(2) 学校選択の過程で困ったこと、改善案などあれば記述してください

主在籍校種	内容
特別支援学級	最後は校長面談、となり、在学の親から様子を聞いており、多分大丈夫だとわかってはいたが、わからない人だったら不安だったと思う。都合により面談が遅くなるとなかなか結果が出なくなってしまうランドセルの手配などが間に合わないと思う。障害児は軽いものなど必要だと思うので、特別に探しており点は困った。
	大阪府は基本保護者の意見を優先してくれるため、親がしっかりと自身の子の成長を理解して決める必要がある。選択できる＝責任の重さだと感じ、入学当初は不安であった。今は支援学級で良かったと思っている。
	一年生は悩みながら手探りのことが多かったので、前もって色々な想定で学習や困りごとの対応などを決めておけばよかったと後悔。
	支援学校の受け入れ時間がとても短いので、文が働きながら子を通わせるのはとてもハードルが高い。
	先ほどの内容と重複しますが 放課後デイの事業所説明一覧が無いのは 厳しかったです

主在籍校種	内容
特別支援学級	小学校の支援学級希望だったが、それを見据えて、年長の時までにある程度の自立が必要な事は、相談支援員さんが教えてくれたから良かった。保育園の先生、療育先でもそこに向けて一生懸命してくれた。就学相談の結果はどうであれ、希望した学校に通えるというスタンスのように聞いていたけど、自立の具合によって学校選択肢にも影響があるんだろうなと圧を感じた。幸い、発達のいい方だったので苦労せず入学できたが、支援学校しか難しかったら、母の就業に大きく影響したと思う。
	ダウン症について説明しなければいけなかったこと。
	希望先の学校の個別見学(体験参加)後、先生との面談でとても嫌なことを言われた。
	大変傷つき、ここへ進学して良いものか悩んだ。就学相談の担当者が寄り添った対応をして下さったのが有り難かった。
	他の保護者からは就学相談員の発言に傷つくこともあると聞くこともある。対応の仕方に力量差があると感じた。
	また社会全体の状況を知ったり、区外の支援団体等への相談で視野が広がり、本来の目的等からブレずに就学先を検討することができた。
	希望する学校の体験や面談で嫌な対応があり、希望の就学先をあきらめる保護者の話をよく聞く。
	地域だけでなく、就学に関する相談ができる場所が必要と感じる。 全てよかったとは思わないけど 何かしらいいところあればいいと思うようにした!

主在籍校種	内容
特別支援学級	ダウン症＝特別支援級の知的クラスか 特別支援学校の就労支援の 2 択しかなく、遅れてでも高校受験の教科が選択出来る環境を選ぶのに、中度の療育手帳では、学校側と問題になってしまう点 留年して下の学年でもいいので、ゆっくり子供のペースで学んで学力をつける環境がもっと必要だと考えています。 先天性疾患の子供、発達障害の子供は年々増えています。もっとどんな子でも学べる、知能を上げて将来自立へと導いてくれる教育が学校でもなされるべきだと考えます。 障害児でも指導出来る先生をもっと教育して増やして欲しいと常々願っています。 相談員さんとの相談会に参加するのが義務的な事。必要がないと感じた際には途中から参加拒否できるなど、柔軟に対応していただきたい。 自治体によって違いがあり過ぎる。また、支援級も学校によってできる対応に差があり過ぎる。それぞれの学校に自分で足を運ばないと情報が得られず、公開日等は限られていて苦戦した。他の自治体の学校は見学ができなかった。
特別支援学校	支援学級の情報が簡単に手に入らず、検討材料が少なかった。 支援学校は授業の様子など、ホームページに紹介したりしていることと比べると対照的と感じた。支援学級を置く学校と個別にコンタクトを取るしか情報を得る手段がないのが実態だと思う。 支援学級の情報をもう少し簡単に得られる環境があるといいと思う。 就学相談を受けながらの情報収集では、検討時間を十分にとれないため、就学相談前に情報収集に動く必要があると感じた。 校舎が建て替え工事のため、仮校舎なのですが、環境整備が難しい事も理解はしているものの、校外活動が少ないように感じました。一日の中で、外での活動を少しでも設けて活動の幅をより広げていただきたいと思います。

主在籍校種	内容
特別支援学校	案内してくださったりする 教頭先生によっても 学校によってぜんぜん対応が違い 先生によるものなんだと思いました
	近い地域に支援級の充実した学校がないために、支援級を候補から外さざるを得なかった。また、移動支援が充実していれば、離れた地域の支援級も候補に入れられたのに、と思った。
	特別支援学校に学童がないため、支援学級にしようかと迷った。就学相談は子の学びの場を選ぶ場所なので、家の問題も含めて、包括的に相談できずに、なかなか就学相談を受ける気がしなかった。
	区の相談員さんと療育の PT さんで言っていることが違い混乱したことがありました。
	相談する場所がもっとあれば良かった。(第三者の)
	肢体不自由の学校と知的の学校で迷ったが、両校とも自宅から遠く、スクールバスで長い時間登校させる事に不安があった。スクールバスのバス停までも遠く、毎日の送迎が負担である。